

発電機(ガソリン)の設置

停電や破損等により使用スペースの電気が使用できない場合は、備蓄倉庫にある発電機を設置します。

① 災害対策本部にガソリンの要請をします。

※ ガソリンは保管できないため、要請後、輸送班が搬送します。

② 施設内の備蓄倉庫から発電機を取り出します。

ガソリン発電機【約70kg】



◆箱から出し入れする際の注意点◆

箱はAのように上から被せているだけです。箱の裏がBのようにになっているため、発泡スチロールごと持ってAのように持ち上げる。



※ 大きさも重さもありますので取りに行く際は複数人で取りに行きましょう

※ 備蓄倉庫の鍵が無い場合は、教職員等に解錠を依頼しましょう

ガソリン発電機 (YAMAHA EF2800iSE) 各部説明 ※ 一部のみ記載



燃料コック

ON：燃料は流れる
始動・運転時のレバーの位置
OFF：燃料は流れない
停止・保管時のレバーの位置



チョーク

エンジンが冷えている状態で始動させるときに引く



各ランプ

オイル警告ランプ：オイル量が規定以下で点灯
出力ランプ：発電を開始すると点灯
過負荷警告ランプ：定格出力を超えた場合に点灯



エンジンスイッチ

STOP：エンジン停止・保管時の位置
ON：エンジン運転時の位置
START：セルモーターが回転し、エンジンが始動する

※ 発電機を使用しない場合は「STOP」の位置にしてください



リコイルスタータハンドル

エンジンを始動させるときに使用



燃料タンク

燃料：ガソリン
タンク容量：12.0L
赤レベルまで給油する

発電機(ガソリン)の設置

停電や破損等により使用スペースの電気が使用できない場合は、備蓄倉庫にある発電機を設置します。

③ 設置場所にガソリン発電機を設置します

- 1 ガソリン発電機を箱から取り出し設置する



- 2 動かないようロックする



- 3 上部にある燃料タンクのキャップを外し、ガソリンを赤レベルまで給油する



- 4 発電機のエンジンを始動させる



【リコイル始動の場合】

- 1: 燃料コックを「ON」にする
- 2: チョークを引く ※ エンジンが暖まっている時はチョークを引く必要なし
- 3: エンジンスイッチを「ON」にする
- 4: リコイルスタータハンドルを引く
- 5: エンジン回転数が安定したらチョークを押して戻す
- 6: しばらく暖機運転させる

- 5 発電機の電力を使用する



出力ランプが点灯したことを確認し、電気器具のプラグをコンセントに差し込む

※ 発電機のエンジンを停止する場合

- 1: 電気器具の電源がOFFにしてからコンセントを抜く
- 2: エンジンスイッチを「STOP」にする
- 3: 燃料コックを「OFF」にする

【使用後の保管場所について】

ガソリンは危険物ですので、発電機使用后（特に燃料が残っている場合）は、教職員等に相談し管理できる場所に保管してもらいましょう。

後日、危機管理室職員が燃料の残量を抜き取る作業を行います。